

防災倉庫設置計画マニュアル

1.はじめに

このマニュアルは、自主防災会(町内会・自治会等)が防災倉庫を設置するにあたり、計画及び申請手続きの手順等を比較検討することを目的として作成されたものです。

東日本大震災、熊本地震の被害も記憶に新しい中、神奈川県で震度6以上の大地震が30年以内に起きる確率は70~80%とされています。

神奈川県が想定している大正型関東地震の藤沢市での被害は下表のようになります。

藤沢市内の被害想定

| | |
|-----|------------|
| 前提 | |
| 震源地 | 相模トラフ |
| 規模 | マグニチュード8.2 |
| 震度 | 6弱~7 |
| 風速 | 3.0m/sec |

また、相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)による津波は、最大高さ11.5m、最大浸水面積4.7km²が予想されています。

| | |
|------------------------|-----------|
| 住民数 | 約429,000人 |
| 死者数 | 約3,260人 |
| 負傷者数 | 12,090人 |
| 建物被害(全壊) | 28,010棟 |
| 建物被害(半壊) | 21,550棟 |
| 焼失棟数 | 9,380棟 |
| 避難者数(1日後) 避難所外避難者含む | 237,900人 |

※ふじさわ防災ナビより抜粋

災害の種類

地震・津波以外にも、台風等による風水害・高波等、大雪、原子力災害等、色々な災害が考えられます。藤沢市ではそういった災害に備えて、下記のような様々な取り組みを行っています。

- ①各種ハザードマップの作成と配布
- ②防災井戸の指定
- ③消防団拠点施設を31か所設置、災害活動に必要な器具を格納
- ④街頭消火器の設置
- ⑤災害時活動協力者の把握
- ⑥自主防災組織防災資機材購入等補助金の交付

詳しくは藤沢市のサイトから「ふじさわ防災ナビ」をご覧ください。(本マニュアル3P.参照)

防災用の備蓄品、資機材

災害への備えは、まずは各家庭で準備しておくこと(自助)が必要ですが、自主防災会では共助として使用する資機材を備えておくことが重要です。

即ち、初期消火、救出活動、応急救護、情報伝達等々に必要な資機材です。

防災倉庫

自主防災会で資機材を揃えるには防災倉庫が必須です。

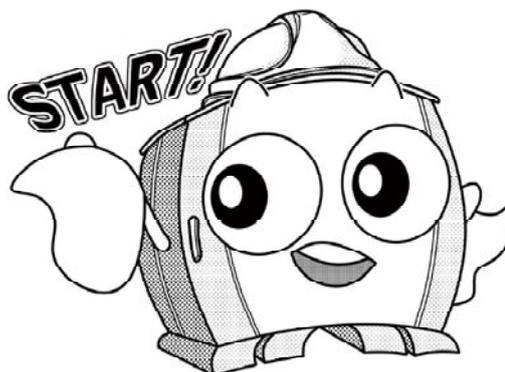
どういう資機材を揃えるのか。

どういう場所にどんな倉庫を作ったら良いのか。

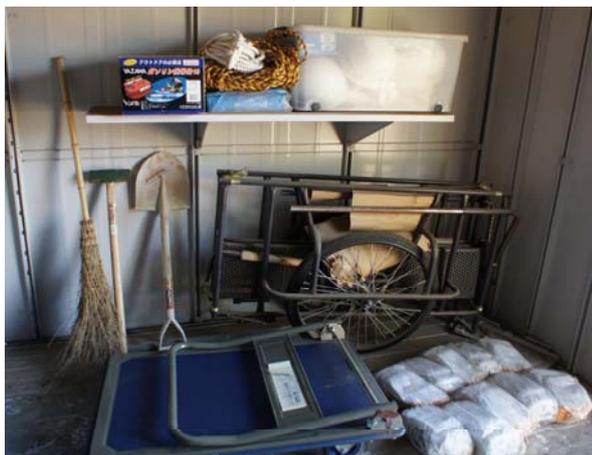
建築確認や、その他の手続きの手順はどうするのか。

建設コストはいくらかかるのか。

一緒に考えてみましょう。



2. 防災倉庫の事例見学



堀川郷友会第二倉庫



堀川郷友会第一倉庫



ふじ自治会防災倉庫



ふじ自治会防災倉庫

堀川郷友会、ふじ自治会のご厚意により見学をしました。

それぞれ独自のルールによって維持管理をしています。

堀川郷友会第一倉庫は自治会館と一体になった木造の防災倉庫で、【標高の低いエリアであるため床から1mには食料等の水に弱い物を置かない】というルールがありました。

ふじ自治会は番号を振った備蓄リストが倉庫内に貼っており、どこに何があるか把握できるよう対策しています。

防災倉庫のある街の風景



3. 計画の留意点

立地及び倉庫の設計のポイント

防災倉庫は緊急時に使用することができる場所に建築（設置）する必要があります。

自主防災会が設置する事例として自治会館内もしくはその敷地内や近隣の公園内などに設置するケースが考えられます。なお、設置場所においては占有許可申請などの手続きが必要な場合があります。

また津波浸水想定区域や土砂災害警戒区域などに該当するような場合には被害を受けにくい場所に設置する事も重要です。

その他建築する場所や敷地の規模などによってさまざまな規制を受ける事があります。

計画の段階から、市役所担当課や専門家による適切なアドバイスが必要と思われます。

藤沢市の運営する防災インフォメーションで避難施設情報等の検索ができます。

～ふじさわ防災ナビ～

http://bosaiinfo.city.fujisawa.kanagawa.jp/index.php?module=bosai_shisetsu



世帯規模別の必要面積

各地域の特性によって防災倉庫へ入れておく資機材の種類が異なりますが、一般的には2～4㎡程度の大きさの防災倉庫が多いのが実情です。

周辺環境への配慮

倉庫としての機能だけではなく、素材、形、色彩など景観上の配慮や、近隣への圧迫感を与えないことも必要になります。

資機材・備蓄品の種類

防災倉庫内に備える資機材・備品類の種類としては、次のような種類のものがあります。

① 情報伝達用資機材 電池メガホン・簡易無線機など



トランジスタメガホン



トランシーバー



腕章

② 消火用資機材

消火器・バケツ・砂袋・C級可搬ポンプ一式など

③ 障害物除去用資機材

バール・脚立・のこぎり・ロープ・チェーンソーなど



バール



ノコギリ



ロープ



チェーンソー



斧

④救護用資機材

担架・救急セット・三角巾など



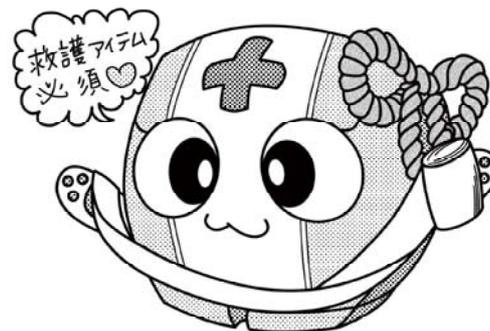
AED



救急セット(5~10人)

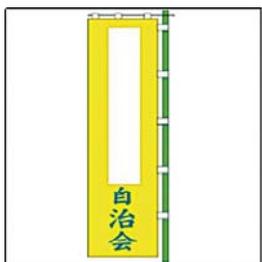


防災ジャッキ



⑤避難用資機材

強カライト・標旗・ロープなど



自治会のほり旗



ヘルメット



折りたたみリヤカー



一輪車



大型テント

⑥避難生活用資機材

発電機・投光器・ビニールシート・防災用毛布など



発電機



投光器(50W)



ビニールシート



ポリタンク



トイレ用テント



コードリール



ガソリン携行缶



大型炊き出し器



⑦地域ごとの特性に応じた防災資機材

浸水の多い地域

土のう袋・砂など

マンション

階段用車いすなど

孤立予想地域

簡易無線・アマチュア無線・オフロードバイクなど

高齢化の高い地区

車いす・リアカー・おんぶ紐など

4. 建築確認申請の要否

防災倉庫でも原則として建築物として取り扱われ、建築確認申請が必要になります。

藤沢市では、小規模な倉庫が建築物に該当するか否かを判断できるよう、建築基準法上と市独自の取扱いを併せて運用しています。

藤沢市「小規模な倉庫の建築基準法上の取扱いについて」

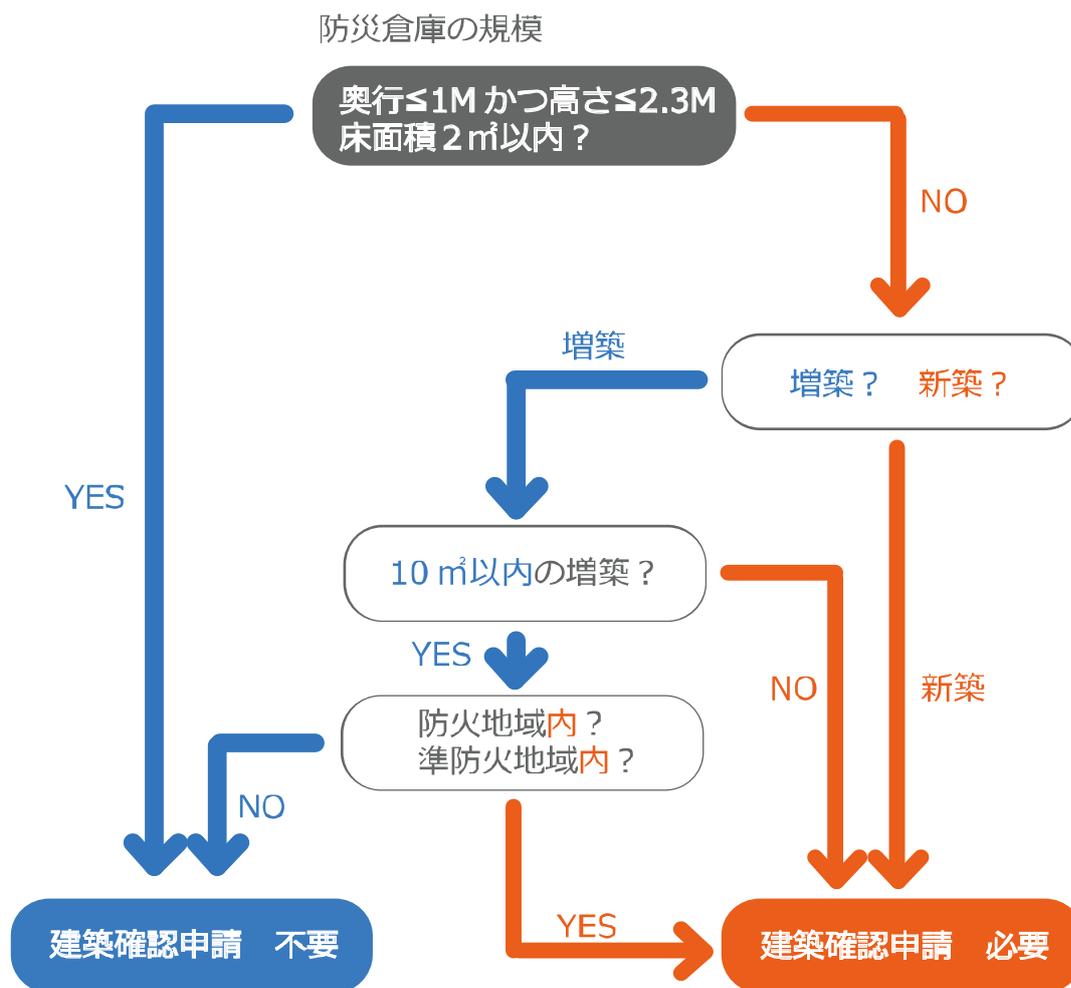
「小規模な倉庫の建築基準法上の取扱いについて(技術的助言)」(平成27年2月27日国住指第4544号)における「小規模な倉庫」とは以下の通りです。

奥行が1m以下かつ高さが2.3m以下で、床面積が2㎡以内の規模とし、かつ、建築基準法第42条に規定する道路内に設置されていないものとする。

藤沢市では、更に独自に以下の2つの内容を付け加えています。

- ①周囲の市街地環境への影響に留意し、一団の土地における複数の設置は避けること。
- ②転倒を防止するため、鉄筋コンクリート造等の基礎に緊結するよう努めること。

建築確認申請要否のフロー



注) 既存建築物の敷地内に防災倉庫を増築する場合は建築基準法上の建ぺい率・容積率の限度内とする必要があります。

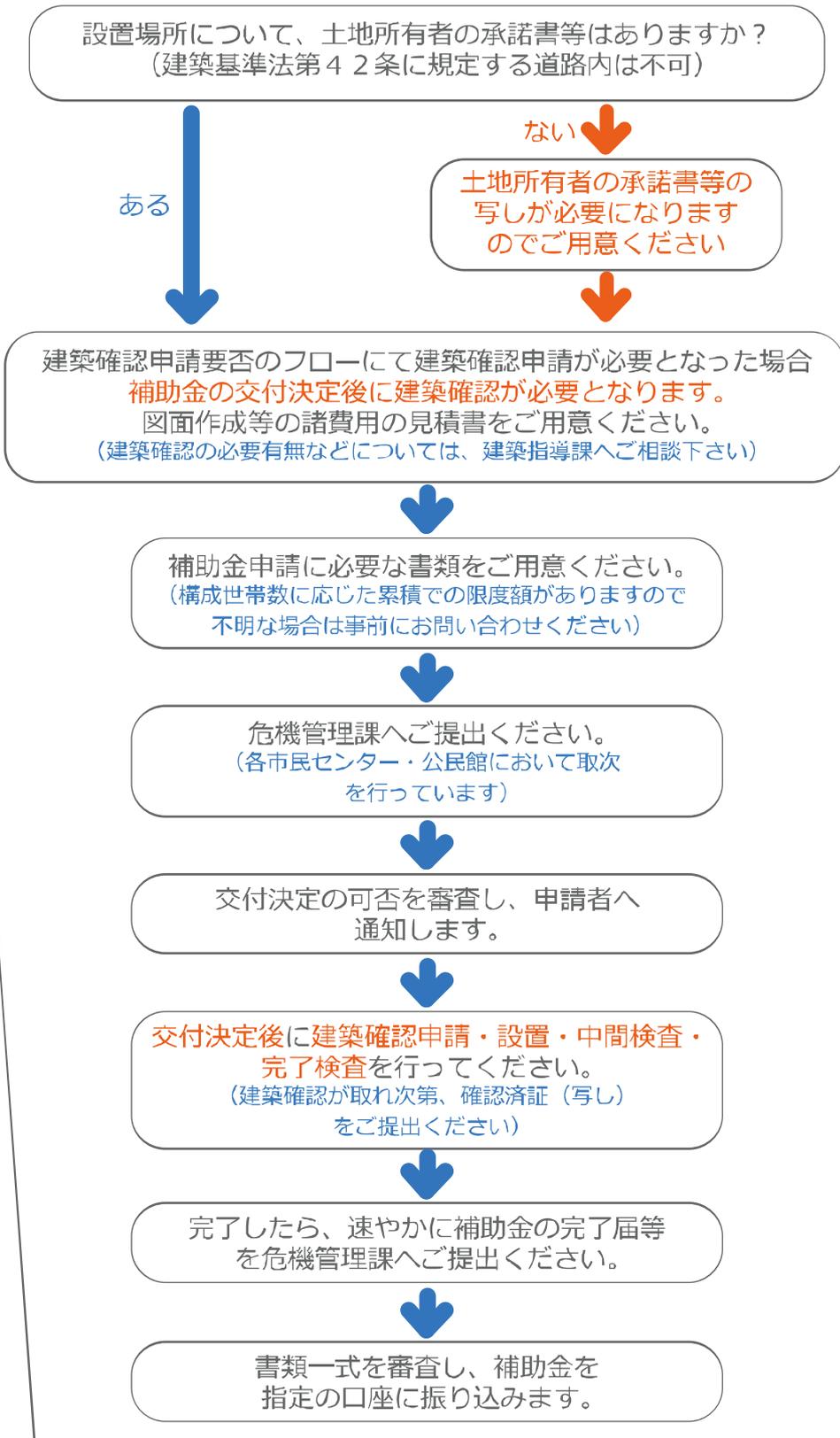
5. 計画～申請～建設のフローチャート



建築確認申請その他手続きの可否について
(建築確認申請可否のフローを参照下さい)

自主防災組織防災資機材購入等補助金を申請される際のフローチャート

※ 藤沢市ホームページ自主防災組織に対する補助金制度
自主防災組織防災資機材購入等補助金を申請される際のフローチャート より抜粋



6. 製品紹介

小型



| | |
|------|----------------------------------|
| メーカー | 稲葉製作所 |
| 品番 | MJX-219E |
| 寸法 | W2,160×D905×H1,903 |
| 床面積 | 1.95㎡ |
| 特長 | 藤沢市の規定(P4参照)により、建築確認申請の必要がありません。 |

中型



| | |
|------|----------------------------|
| メーカー | 稲葉製作所 |
| 品番 | NXN-25S |
| 寸法 | W1,790×D1,370×H2,075 |
| 床面積 | 2.45㎡ |
| 特長 | 多くの自主防災会で使用されている平均的なサイズです。 |

大型



| | |
|------|---------------------------------|
| メーカー | 淀川製鋼所 |
| 品番 | LMD-2218 |
| 寸法 | W2,213×D1,862×H2,118 |
| 床面積 | 4.12㎡ |
| 特長 | 中型と同様多くの自主防災会で使用されている平均的なサイズです。 |

超大型



| | |
|------|----------------------------------|
| メーカー | カガミハウジング |
| 品番 | KGM-400 |
| 寸法 | W4,030×D2,395×H2,360 |
| 床面積 | 9.65㎡ |
| 特長 | 多くの備蓄品を収納できる多世帯を有する自主防災会向けの倉庫です。 |



7. 概算費用・補助金

防災倉庫の規模に応じた倉庫の設置費用および建築確認申請の概算費用は次表のとおりです。

防災倉庫の設置に係る費用(消費税別途)

| 倉庫規模 | | 大型 | 中型 | 小型 |
|--------------|-------|---|---|---|
| | | 間口 2,210mm 奥行 1,790mm 高さ 2,075mm 床面積 3.96㎡ | 間口 1,790mm 奥行 1,370mm 高さ 2,075mm 床面積 2.45㎡ | 間口 1,530mm 奥行 950mm 高さ 2,075mm 床面積 1.74㎡ |
| 倉庫新設費用(*1) | 倉庫 | 170,000 | 135,000 | 105,000 |
| | 標準工事費 | 100,000 | 80,000 | 60,000 |
| 小計 | | 270,000 | 215,000 | 165,000 |
| 建築確認申請費用(*2) | | 150,000 | 150,000 | 0 |
| 合計 | | ¥ 420,000 | ¥ 365,000 | ¥ 165,000 |

※補助金対象倉庫は建築確認申請手数料の減免措置があります。

※敷地の状況やその他の条件により費用は異なります。上記はあくまでも参考資料としてご覧ください。

*1 倉庫の金額および工事費は、市販のスチール物置の価格を参考にしています。

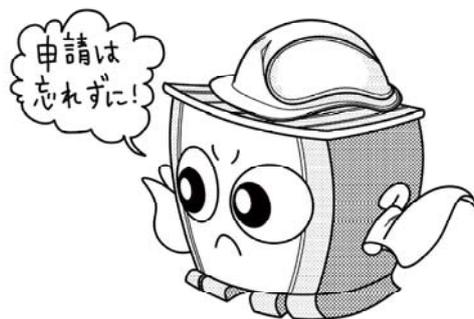
*2 建築確認申請費用とは、建築設計事務所が市役所や検査機関に支払う費用及び、提出する図面等にかかる費用の合計です。

補助金について

自主防災会が防災倉庫を設置する際、一定の要件を満たすものにつき市より補助金が交付されます。

補助金の額は、防災倉庫および資機材の購入、倉庫の修繕や移設等に要する経費の1/2に相当する額以内とし、その限度額は自主防災会の世帯数に応じ、下記の通りです。

| 世帯数 | 限度額 |
|--------------|------|
| 100世帯以下 | 50万 |
| 101世帯～300世帯 | 60万 |
| 301世帯～500世帯 | 70万 |
| 501世帯～1000世帯 | 80万 |
| 1001世帯以上 | 100万 |



なお、資機材については藤沢市自主防災組織育成事業実施要綱に定められた『奨励補助金交付対象防災資機材の種類』に掲載された資機材を購入する場合に限り、補助金が交付されます。

*補助金対象の資機材については藤沢市自主防災組織育成事業実施要綱をご参照下さい。

8.設置後に必要なこと

防災倉庫を設置して、資機材を揃えれば、もう安心ということではありません。

いざという時にスムーズに防災活動ができるように改善を重ね、より良い防災組織を構築することが重要です。そのためには下記のようなことが必要になります。

①防災資機材の整備・点検

ガソリンや食料品等消費期限のあるものは常に新しいものと入れ替えましょう。
発電機等の資機材は正常に作動するかどうか定期的に動作確認をしましょう。

②防災訓練

避難訓練等と併せて、資機材等を使えるように練習をすると良いでしょう。

③防災イベント

防災訓練だけではなく、多くの方が参加し、交流・親睦を深める楽しいイベントを開きましょう。
例えば…

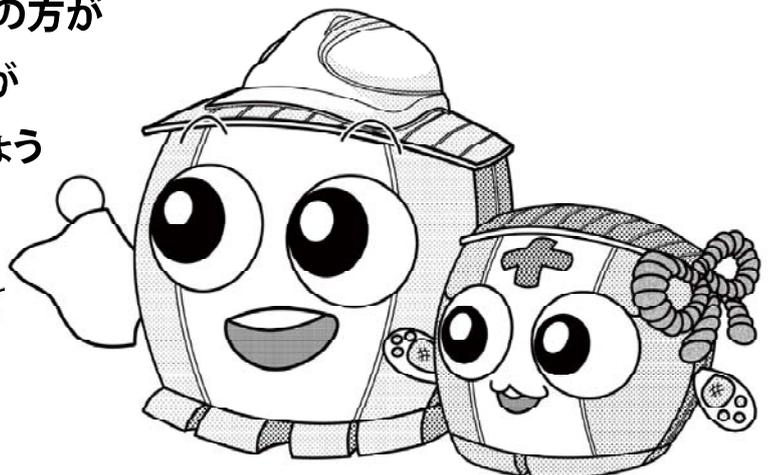
<炊き出し大会>

賞味期限の近い備蓄の食料品と炊き出し鍋を使って、炊き出しを行うのも良いでしょう。

<防災寝泊り体験>

自治会館等に泊まって、電気を使わず、防災資機材の発電機、ライト等を使っての被災生活体験も有効でしょう。

大切なのは倉庫を設置してからです
イベントや訓練を通じて多くの方が
緊急時に慌てず正しい対処が
出来るよう準備しておきましょう



9.提案型の防災倉庫(アイデア)

空き家の利活用

空き家の利活用、閉鎖店舗などを活用したコミュニティスペース型の防災倉庫のある街並みの提案も可能性があるのではないのでしょうか？



街並景観に合わせた外観

例えば藤沢宿であれば、写真のような街並に合わせた屋根・外壁の形状、あるいは素材を使つての倉庫を提案します。

既存建物を利用する場合、または私有地利用の場合、関係者の承諾と周辺関係者の理解が前提となります。また、建築基準法(建ぺい率・防火地域・積載荷重等の構造等)の諸問題を解決する必要があります。

制作者

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 藤沢支部
TEL:0466-31-1770 <http://fujisawa-kana.org>

制作委員

| | |
|--------|----------------------|
| 小笠原 修司 | 一級建築士事務所シエラ建築コンサルタント |
| 杉浦 滋 | 有限会社リフォームカウンセル |
| 横山 尊重 | 建築総合企画ジーボックス一級建築士事務所 |
| 米村 和夫 | 米村和夫建築アトリエ一級建築士事務所 |
| やまぎ コロ | キャラクターデザイン・編集 |

情報提供

| | | |
|-----|-------|-------|
| 藤沢市 | 計画建築部 | 建築指導課 |
| | 防災安全部 | 危機管理課 |

防災倉庫設置計画マニュアル

平成30年3月 発行

※掲載の情報は平成30年3月現在のものです

